

## 2. 調査票

# 香川県男女共同参画社会に関する意識調査

平成 21 年 1 2 月  
香川県総務部県民活動・男女共同参画課

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方をお願いするものです。回答は、必ずあて名の方がご記入くださるようお願いいたします。
2. 氏名、住所の記入は必要ありません。
3. 回答は、あなた自身のお考えにあてはまる番号に○をつけるか、必要なことを（ ）に記入してください。
4. 得られた回答については、統計的に処理した上で分析しますので、個人の名前が出たり、他の目的に使用することは一切ありません。

### ご記入が終わりましたら・・・

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、1月8日（金）までにご投函ください。（切手は不要です。また、この調査は、香川県が調査会社に業務を委託して実施しているため、返信用封筒のあて先は調査会社となっています。）

なお、記入方法などわからないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

### 男女共同参画社会とは・・・

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会

（男女共同参画社会基本法より抜粋）

#### 〔お問い合わせ先〕

香川県総務部県民活動・男女共同参画課  
ボランティア・男女共同参画推進グループ（担当：梅本）  
高松市番町四丁目1番10号  
電 話 087-832-3197  
FAX 087-831-1165

■家庭生活などについて

問1 家庭生活と家族観（男女の役割）について、あなたはどのようにお考えですか。

【○はそれぞれ1つずつ】

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
②女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
③女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児・介護はきちんとすべきである	1	2	3	4	5
④結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
⑤夫婦が別々の姓を選択できるようにした方がよい	1	2	3	4	5

問2 家庭での夫と妻の役割分担について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。

【○はそれぞれ1つずつ】

	夫主の役割に	同じ分担する程度	夫が主	妻主の役割に	その他	わからない
①炊事、洗濯、掃除などの家事	1	2	3	4	5	
②子どもの世話、しつけや教育	1	2	3	4	5	
③親などの介護	1	2	3	4	5	
④地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動	1	2	3	4	5	
⑤収入を得ること	1	2	3	4	5	
⑥家計の管理	1	2	3	4	5	
⑦高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5	

現在、ご結婚されている方のみお答えください。

その他の方は問4へ進んでください。

**問3** あなたの家庭での夫と妻の役割分担について、現状に最も近いものはどれですか。

【○はそれぞれ1つずつ】

	夫主 の 役 割 に	分 担 す る 程 度 が	同 夫 婦 の 役 割 に	妻 主 の 役 割 に	そ の 他	わ か ら な い
①炊事、洗濯、掃除などの家事	1	2	3	4	5	
②子どもの世話、しつけや教育 (中学生以下の子どもがいる場合のみお答えください。)	1	2	3	4	5	
③親などの介護 (介護を必要とする方がいる場合のみお答えください。)	1	2	3	4	5	
④地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動	1	2	3	4	5	
⑤収入を得ること	1	2	3	4	5	
⑥家計の管理	1	2	3	4	5	
⑦高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5	

**問4** 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心が高めるよう啓発や情報提供を行うこと
- 8 国や地方公共団体などの研修により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること
- 10 家庭や地域活動と仕事の両立の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 11 その他（具体的に )
- 12 特に必要なことはない

■男女の平等と役割について

問5 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

【〇はそれぞれ1つずつ】

	優遇されている 男性の方が非常に	優遇されている 男性のほうが	どちらかといえば 男性のほうが	平等に	優遇されている 女性の方が	優遇されている 女性の方が非常に	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6	
②職場	1	2	3	4	5	6	
③学校教育の場	1	2	3	4	5	6	
④政治の場	1	2	3	4	5	6	
⑤法律や制度の上	1	2	3	4	5	6	
⑥社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6	
⑦地域活動の場	1	2	3	4	5	6	
⑧社会全体	1	2	3	4	5	6	

問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」、「男子生徒は理系、女子生徒は文系を選ぶべき」といった、男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことがありましたか。

【〇はいくつでも】

- 1 進学のとくにあった
- 2 就職のとくにあった
- 3 仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった
- 4 管理職等へ昇進したかったが、あきらめざるを得なかったことがあった
- 5 その他（具体的に )
- 6 特にない

■女性の社会進出について

**問7** あなたは、社会において、女性の能力は十分活用されていると思いますか。

【○は1つ】

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう思わない
- 5 そう思わない
- 6 わからない

**問8** あなたは、今後、女性の参画が必要と思われる分野は、どのような分野だと思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 政治家
- 2 企業・団体の幹部層
- 3 公務員の幹部層
- 4 弁護士・裁判官・検察官
- 5 マスコミ（記者を含む）
- 6 医師
- 7 研究者・技術者
- 8 自治会など身近な地域団体
- 9 その他（具体的に )
- 10 特になし

**問9** あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
- 2 男性優位の組織運営
- 3 家族の支援や協力が得られない
- 4 女性の能力開発の機会が不十分
- 5 女性の活動を支援するネットワークの不足
- 6 女性側の積極性が十分でない
- 7 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
- 8 その他（具体的に )
- 9 わからない

■就労について

**問 10** あなたは、自分が 10 年後、現在より高い職責にあたり、高い技術を身につけることなどにより、難しい仕事を行っていると思いますか。

【○は1つ】

- 1 そう思う
- 2 そう思わない
- 3 わからない

問 10 で「2 そう思わない」を選んだ方のみお答えください。

その他の方は問 12 へ進んでください。

**問 11** それはなぜですか。

【○はいくつでも】

- 1 身近に自分の手本となる先輩や相談できる上司がいないから
- 2 今後の仕事や職場経験の道筋が不明確だから
- 3 明確な仕事上の目標を達成するための計画が描けないから
- 4 職場の同僚等の中で職場経験などについて相談しやすい環境にないから
- 5 家事・育児・介護やストレスなどで辞めるかもしれないから
- 6 技術を身につけたり、昇進したりする見込みのない仕事についているから
- 7 現状で満足しているから
- 8 その他（具体的に )

**問 12** あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか。

【○は1つ】

- 1 女性は職業を持たないほうがよい
- 2 結婚するまでは職業をもつほうがよい
- 3 子どもができるまでは職業をもつほうがよい
- 4 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい
- 6 その他（具体的に )
- 7 わからない

問 12 で「1 女性は職業を持たないほうがよい」以外を選んだ方のみお答えください。

「1 女性は職業を持たないほうがよい」を選んだ方は問 14 へ進んでください。

**問 13** 出産・育児・介護などのため仕事をいったん辞めてから再就職を希望する女性が、再就職しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 再雇用制度の導入などにより職場に復帰できるようにすること
- 2 パート労働者や派遣労働者などの労働条件の改善
- 3 保育・介護の施設やサービスの充実
- 4 男女が協力して家事・育児等を担うという意識が広まること
- 5 再就職のための研修や職業訓練の充実
- 6 実際に再就職した女性の事例を広く紹介すること
- 7 一ヶ所で効率的に情報収集・相談などができる仕組みづくり
- 8 その他（具体的に )
- 9 特にない
- 10 わからない

■ワーク・ライフ・バランスについて

**問 14** あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。

【○は1つ】

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかといえばそう思わない
- 5 そう思わない

問 14 で「4 どちらかといえばそう思わない」または「5 そう思わない」を選んだ方のみお答えください。

その他の方は問 17 へ進んでください。

**問 15** あなたが「時間を取りすぎていると思う活動」、「時間が取れていないと思う活動」は、どれですか。それぞれ3つまで挙げてください。

- 1 仕事
- 2 家事・育児・介護
- 3 地域・社会活動
- 4 学習・自己啓発
- 5 趣味・娯楽
- 6 恋人・友人・同僚等とのコミュニケーション
- 7 睡眠・休養
- 8 その他（具体的に

[回答欄]

時間を取りすぎていると思う活動			
時間が取れていないと思う活動			

**問 16** どのようにすれば、自分が希望する時間の取り方ができると思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 帰宅しやすくなるなど、職場の雰囲気が変わること
- 2 仕事の量が少なくなること
- 3 効率的に仕事をするなど、仕事のやり方が変わること
- 4 配偶者が家事・育児・介護に参加してくれること
- 5 育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児・介護を両立するための制度が整備されること
- 6 保育所など、仕事と家事・育児・介護を両立するための施設が整備されること
- 7 育児休業や短時間勤務といった制度の利用が、職業経験のうえでハンデとならないこと
- 8 その他（具体的に

■男女間における暴力について

**問 17** あなたは、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関して、次のことを知っていますか。ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。(以下、同様。)

次の中から知っているものをいくつでも選んで○をつけてください。

【○はいくつでも】

- 1 配偶者の暴力から被害者を守るために、法律(「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」)があること
- 2 配偶者からの暴力は犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であること
- 3 配偶者からの暴力には、なぐる、けるなど身体に対する暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力も含まれること
- 4 被害者の相談窓口があること
- 5 被害者が加害者から逃れるため、一時的に安全な場所に保護してもらえること
- 6 加害者が被害者に近寄らないようにするよう、裁判所へ申し立てることができること
- 7 被害者を発見した者は、配偶者暴力相談支援センター又は警察に通報するよう努めなければならないこと
- 8 知らない

これまでに結婚したことのある方のみお答えください。

その他の方は**問 22**へ進んでください。

**問 18** あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

【○はそれぞれ1つずつ】

	1、2度 あった	何度も あった	まった くない
①なぐったり、けったり、物をなげついたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

①から③のうち1つでも、「1、2度あった」「何度もあった」と答えた方のみ**問 19**へ進んでください。

①から③のすべてが「まったくくない」という方は**問 22**へ進んでください。



問 18 で①から③のうち1つでも、「1、2度あった」「何度もあった」と答えた方にお聞きします。

問 19 では、この1年とこの2～5年には、どうでしたか。

【○はそれぞれ1つずつ】

	この 1年 にあ った	この 2～5 年 にあ った	5年 以 内 に は な か っ た
①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

①から③のすべてが「5年以内にはなかった」という方は  
問 22 へ進んでください。

問 19 で①から③のうち1つでも、「この1年にあった」「この2～5年にあった」と答えた方にお聞きします。

問 20 あなたは、あなたの配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

【○はいくつでも】

- 1 子ども女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）に相談した
- 2 警察に連絡・相談した
- 3 市役所・町役場に相談した
- 4 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 5 かがわ男女共同参画相談プラザ／高松市男女共同参画センターに相談した
- 6 上記以外の公的な機関（県福祉事務所、精神保健福祉センター、保健所など）に相談した
- 7 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
- 8 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
- 9 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
- 10 家族や親戚に相談した
- 11 友人・知人に相談した
- 12 その他（具体的に

13 どこ（だれ）にも相談しなかった

問 22 へ進んでください。

問 21 へ進んでください。

問 20 で「13 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問 21 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。

【○はいくつでも】

- 1 どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3 相談してもむだだと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから
- 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 7 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 他人を巻き込みたくなかったから
- 10 他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
- 11 そのことについて思い出したくなかったから
- 12 自分にも悪いところがあると思ったから
- 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 14 相談するほどのことではないと思ったから
- 15 その他（具体的に

問 22 あなたの 10 歳代から 20 歳代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。

あなたには、その当時、交際相手がありましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。

【○は 1 つ】

- 1 交際相手があった（いる）
  - 2 交際相手はいなかった
- 問 24 へ進んでください

問 22 で「1 交際相手があった（いる）」と答えた方にお聞きします。

問 23 あなたは、10 歳代、20 歳代に、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

【○はいくつでも】

	10 歳代に あった	20 歳代に あった	10 歳代、20 歳代のいず れにもなか った
①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

**問 24** 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。

【○はいくつでも】

- 1 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
- 2 学校または大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
- 3 地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
- 4 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
- 5 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
- 6 加害者への罰則を強化する
- 7 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる
- 8 その他(具体的に )
- 9 特にない

**問 25** あなたは、メディアにおける性・暴力表現について、どのようにお考えですか。

【○はいくつでも】

- 1 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
- 2 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
- 3 女性に対する犯罪を助長するおそれがある
- 4 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない
- 5 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
- 6 その他(具体的に )
- 7 特に問題はない
- 8 わからない

■男女共同参画社会の形成について

問 26 あなたは、男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

【○はいくつでも】

- 1 法律や制度の面で見直しを行う
- 2 女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する
- 3 各種団体の女性のリーダーを養成する
- 4 職場における男女の均等な待遇の確保について周知徹底を行う
- 5 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野への女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する
- 6 保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- 7 学校や社会教育、生涯学習の場で男女平等と相互理解や協力についての学習を充実する
- 8 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの施設を整備・充実する
- 9 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 11 わからない

問 27 男女共同参画社会や男女間の暴力について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。質問はこれで終わりですが、お答えいただいたことを性別や年代などで統計的に分析するため、差し支えなければ、あなたご自身のことやご家族のことについてお聞かせください。

F 1 あなたの性別をお聞かせください。(〇は1つ)

- 1 男性                                  2 女性

F 2 あなたの年齢は、おいくつですか。(〇は1つ)

- 1 20～29歳                                  2 30～39歳                                  3 40～49歳  
4 50～59歳                                  5 60～69歳                                  6 70歳以上

F 3 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

- 1 未婚                                  2 既婚(事実婚を含む。)                                  3 離別・死別

F 4 あなたの職業は何ですか。また、現在結婚している場合、あなたの配偶者の職業は何ですか。次の中から主なものを1つ選んで回答欄にご記入ください。(出産・育児休業中などの方も働いているものとしてお答えください。)

- 1 自営業主として、農林漁業を営んでいる  
2 家族従業者として、農林漁業に従事している  
3 自営業主として、商工業、サービス業、自由業などを営んでいる  
4 家族従業者として、商工業、サービス業、自由業などに従事している  
5 正社員、正職員として、会社、商店、官公庁などに勤めている  
6 パート、アルバイト、嘱託として、会社、商店、官公庁などに勤めている  
7 主婦・主夫(家庭の中での家事が主な役割の方)  
8 無職(学生を含みます。)

〔回答欄〕

あなたの職業	
配偶者の職業 (現在結婚している方のみご記入ください。)	

F 5 現在、あなたの世帯に、次の時期にあてはまるお子さんはいらっしゃいますか。該当するものすべてに〇をつけてください。

- 1 乳幼児期                                  2 小学生                                  3 中学生                                  4 高校生以上の学生  
5 学校は卒業した子ども                                  6 子どもはいない

F 6 現在、あなたの世帯に、日常的に介護を必要とする方はいらっしゃいますか。(〇は1つ)

- 1 いる                                  2 いない

F 7 あなたの世帯の構成は、次のように分けるとどれにあたりますか。(〇は1つ)

- 1 単身                                  2 夫婦のみ                                  3 二世帯世帯(親と子)  
4 三世帯世帯(親と子と孫)                                  5 その他

たくさんの質問にご協力いただき、誠にありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、1月8日(金)までに、切手を貼らずにポストにご投函ください。